

みやび通信

つれづれなるままに KAZU がつづる

* * みやび通信 第1号(通刊第37号) 2002 (平成14) 年10月27日 発行: KAZU * *

第1号 オークランドの動物 セミ

オークランドには2種のセミがいます。Small cicada (コセミ) と Large cicada (オオセミ)。

SMALL CICADA

SMALL CICADA は体長20mmくらいの小さなセミ。羽は透明で日本のチチセミより大きくてニイニイセミより小さい。12月初めから2月にかけてチーと鳴く。垣根や小木、草、石垣、果ては地面にまで何にでもとまるが、余り高い所にはとまらない。飛び立ってもすぐにとまる。私がオークランドに来て初めて出会った昆虫がこのセミ。



LARGE CICADA

一方、LARGE CICADA は体長40mmくらい、透明の羽、体は黒褐色。12月末、クリスマス頃から3月初め頃まで、日本に似た声のセミはいないのでもっと表現しづらい声で鳴く。マオリ語ではキヒキヒ...と鳴くので "kihikihi" と呼ぶ。私はこのセミに出会う前にマオリ語の名前を知ってしまったので、先入観からかやはりキヒキヒ...と聞こえてしまう。晴天の午前中を中心に鳴き、曇った日や夕方には鳴かない。結構やかましいセミだと思う。



ニュージーランドでは子供が昆虫採集をする習慣がないので、セミの方も余り人を警戒しない。網さえあれば採るのは簡単。クリスマスホリデーで子供のいない小学校の校庭はねらい目。数の多い割にぬけがらは余り見ない。

